

ナウマン通信



2021年
8月30日発行
第18号

大阪市立我孫子南中学校

”たかが掃除、されど掃除!!”

数々の感動を生んだオリンピックも閉幕し、雨天のため延期が続いた高校野球も昨日無事終わりました。いよいよ夏の終わりを感じてしまいます。今はパラリンピックが行われ、日本人選手の活躍にまた、感動しています。みんなは見ていますか？選手は何らかのハンデを持ちながらも何故そんなことができるの？と思うようなパフォーマンスを連日見せてくれています。いったい、どれだけの努力をすればそんなプレーができるのか不思議に思うくらい素晴らしい力を発揮していて、自分たちにももっとできることがあるのではと勇気をもらっています。みんなも何かを感じ取ってくれればうれしく思います。

さて、今日から全校集会を放送で行うこととしました。本当であればみんなの顔を見て、様子を見て、そしてみんなの熱を感じながら集会を行いたいのですが、小中学生にまで感染が広がっている今、しばらくの間用心をしたいと思います。協力をお願いします。

オリンピックをみて、たくさんの感動をしましたが、校長先生が心に残っていることを少しづつ紹介していけたらと思っています。その中で今日は、金メダルを取った女子ソフトボールの上野由岐子選手のことを少し紹介したいと思います。彼女は2008年の北京オリンピックで伝説を作りました。それは準決勝で延長の末、敗北。同じ日に行われた決勝進出決定戦は勝利。しかしこれも延長戦でした。そして翌日の決勝戦、2日間3試合で413球を一人で投げ抜き、金メダルを勝ち取ったのです。まさに女子ソフトボール界のレジェンドなのです。そんな彼女のことを紹介する新聞記事が当時出ました。”たかが掃除、されど掃除”がそのタイトルです。以下簡単に要点をまとめました。読んでください。



「たかが掃除、されど掃除」

上野選手は練習後、誰よりも遅くまでグラウンド整備や部室の掃除をしました。理由は「明日も気持ちよく練習をみんなで始めたい」からという事でした。チームは上野選手のおかげで大変チームワークが良くなっていきました。さらに上野選手は「掃除をすると気づきの心が磨かれ、そのことが試合の時に役立つ」とも言っていたそうです。

☆掃除の効果

- ①掃除をすると心が優しくなる。
- ②掃除をすると気づき人間になれる。
- ③掃除をするとさわやかな気分になれる。
- ④掃除をすると効率よく勉強が出来るようになる。
- ⑤掃除をするとチームワークが良くなる。



短い記事ですが、どうでしょうか？みんなはどんな気持ちで普段の教室の掃除や家の掃除をしているのでしょうか？今週の当番だから仕方なくやっているのでしょうか？それとも明日もクラスみんなが気持ちよく授業が受けられるようにと掃除しているのでしょうか？「たかが掃除、されど掃除」何気ないことですが何事も本気でやれば豊かな心が育ち、豊かな人になっていくのではないのでしょうか。